

# 新生津山市の市政について

公明党津山市議団 代表質問

質問者 川端 恵美子

会派メンバー

岡安謙典、仁木豊司

**質問** ↓ 新年度骨格予算は組まれたが三位一体改革による津山市の影響と今後の財政状況の予測はどうか。

**答弁** ↓ 国庫補助負担金の廃止削減額は約四億円、これに伴う税源移譲額は約三・八億円と



推計する。地方交付税では三・六%増と推計しているが合併上乘せ分を除けば八千万円の減である。臨時財政対策債は前年度より四億八千万円の減となり、実質的な交付税は大幅な減となる。今後は行財政改革の推進のもと簡素で効率的な行政システムを確立し、持続可能な財政への転換が必要である。

**質問** ↓ 指定管理者制度導入の具体的スケジュールはどうか。

**答弁** ↓ 六月議会に条例を上程しその後選定を行い、十八年四月に指定管理者制度に移行したいと考えている。

**質問** ↓ 次世代育成支援行動計画の策定については思春期の健康教育等を含めどのような観点で論議をしたものか。

**答弁** ↓ 三月中に計画策定予定であるが母子保健対策が大きな柱となっている。思春期の保健対策の強化と健康教育の推進を専門機関等の協力と連携

で支援体制を確立するなどを実施している。

**質問** ↓ 備中槽の一般公開が行われるが鶴山の石段や手すりのバリアフリー的整備をして高齢者が上がりやすくしているのか。

**答弁** ↓ バリアフリー計画で早期実施ができるよう努力する。

**質問** ↓ 国体の次は国民文化祭が

予定される。文化振興条例について市長の考えは。

**答弁** ↓ 津山市も国民文化祭の受け入れを積極的に準備する。条例制定についても検討する。

**質問** ↓ 民間の文化芸術団体育成のため練習会場費の無料・低額をシステム化できないか。

**答弁** ↓ 当面は現行制度を活用し各種助成制度で育成したい。

## 市長の「辞職しない」は公約破り!

日本共産党津山市議団

久永良一

**質問** ↓ 市長は、平成九年一月議会で、アルネが「失敗したら市長をやめる」と公言した。再開発組合の資金問題と幹部の背任事件、街づくり会社の連続赤字と経営破綻、商店街へのアルネ効果皆無、そして相次ぐ税金投入で行政を歪め、市民に大きな不安を与えた。津山市の史上最大のプロジェクト・アルネの失敗は誰が見ても明確だ。市長は「公約」通り、辞職すべきだ。

**答弁** ↓ 事業をとりまく状況は大きく様変わりした。必要な対策を講じることも行政の役割だ。

**質問** ↓ 十一億円のアルネのバスターションを止めれば台風で被害をうけた森林の復旧・造林事業が地元負担なしで可能だ。

**答弁** ↓ 困難性がある。

